

# 平成29年度 事業計画（案）

## 法人本部・企画事業部

### 【基本理念の見直し】

#### 新基本理念（定款 第一条 目的）

「だれもが、明るく朗らかな笑顔をたたえ、意欲と自信をもって、より豊かな人生を送ることができるよう総合的な福祉サービスを提供します。“あなたの笑顔はみんなをHAPPYにする!”」

1. 利用者の個性並びにライフステージに応じた支援
2. 利用者個々の能力や希望等に応じた就労スタイルの提案・支援
3. 利用者の地域における暮らしを支えるための支援の充実と体制の確立
4. 一つの社会連帯の拠点として、心地よい雰囲気と誰でも受け入れられる開かれた環境の構築
5. 法人に対する職員の帰属感を育む運営
6. 職員の能力や家族等の状況に配慮した職場環境の整備
7. 職員の幅広い分野におけるレベルアップとその活動支援

### 【経営会議の開催】

平成29（2017）年9月より地域生活支援拠点ゆうかり（仮称）事業開始に伴い、法人全体の事業拠点を3つ（岡之原エリア、草牟田エリア、上福元エリア）に区分する。

平成29（2017）年度以降の理事会・評議員会の新体制スタートと同時に、エリアごとに担当理事を選任する。

担当理事ならびに事業所長（兼務の場合もあり得る）を中心に、事業の収支を意識した目標達成（稼働率アップ、職員の資質向上）を目指す。3ヵ月ごと（四半期に一回）に経営会議を開催し、進捗確認、必要に応じて、理事会・評議員会への報告をする。

### 【就労系事業見直し】

各部門ごとに、稼働率を上げるための創意工夫を行う。

現在、労働局からの助成金による「工賃アップセミナー」に参加している9名からの発案を機軸に、就労系事業の内容の見直しを実施。

就労系で実施している作業内容の一部を、生活介護事業でも実施できる体制に変更（29年度中）。

週6日開所に伴う、登録利用者の増員、魅力ある活動事業内容とすべく、既存の黒豚を使った新商品、就労系・生活介護事業における、デリカ部門の創設（30年度中）。

※ 将来構想委員会のメンバーを軸に、企画事業部を設置（29年度）し、ゆうかり学園50周年、『くればす』20周年、ゆうかり保育園10周年となる来年度、上記のようなソフト面の再開発を実施する。

## 企画事業部発足について

平成29（2017）年度体制から、「企画事業部」発足  
平成28年度内に準備室開設  
〔メンバー：専属1名、兼務3名〕

- ◇ ゆうかり学園50周年事業を企画・立案、実施  
サービスセンター『くれぱす』20周年  
ゆうかり保育園10周年  
※ 11月22日（水） 記念シンポジウム 記念式典 城山観光ホテルにて
  
- ◇ 地域生活支援拠点（草牟田） 開所式 企画・立案、実施

周年事業終了後は、ゆうかりを発信

〔主に草牟田を拠点とし、下記企画を立案〕

- \* バリアフリー映画企画
- \* アート展企画
- \* ゆうかりマルシェ企画
- \* 再ブランド化（黒豚、野菜）
- \* 海外連携（ヨーロッパ、アジア）